

津波は来たの？



関東大震災のとき、大磯では大きな津波は来なかったんだべえ。潮が引いたのは引いたように見えただけで、土地が約2m^{りゅうき}隆起したからだったんだべえ。



2mも…!? 津波が来たり、来なかったり、土地が上がったり、下がったり、どうしてそんなことが起こるのかしら??



どうも地形が関係しているみたいだべえ。

海底が露出した海岸

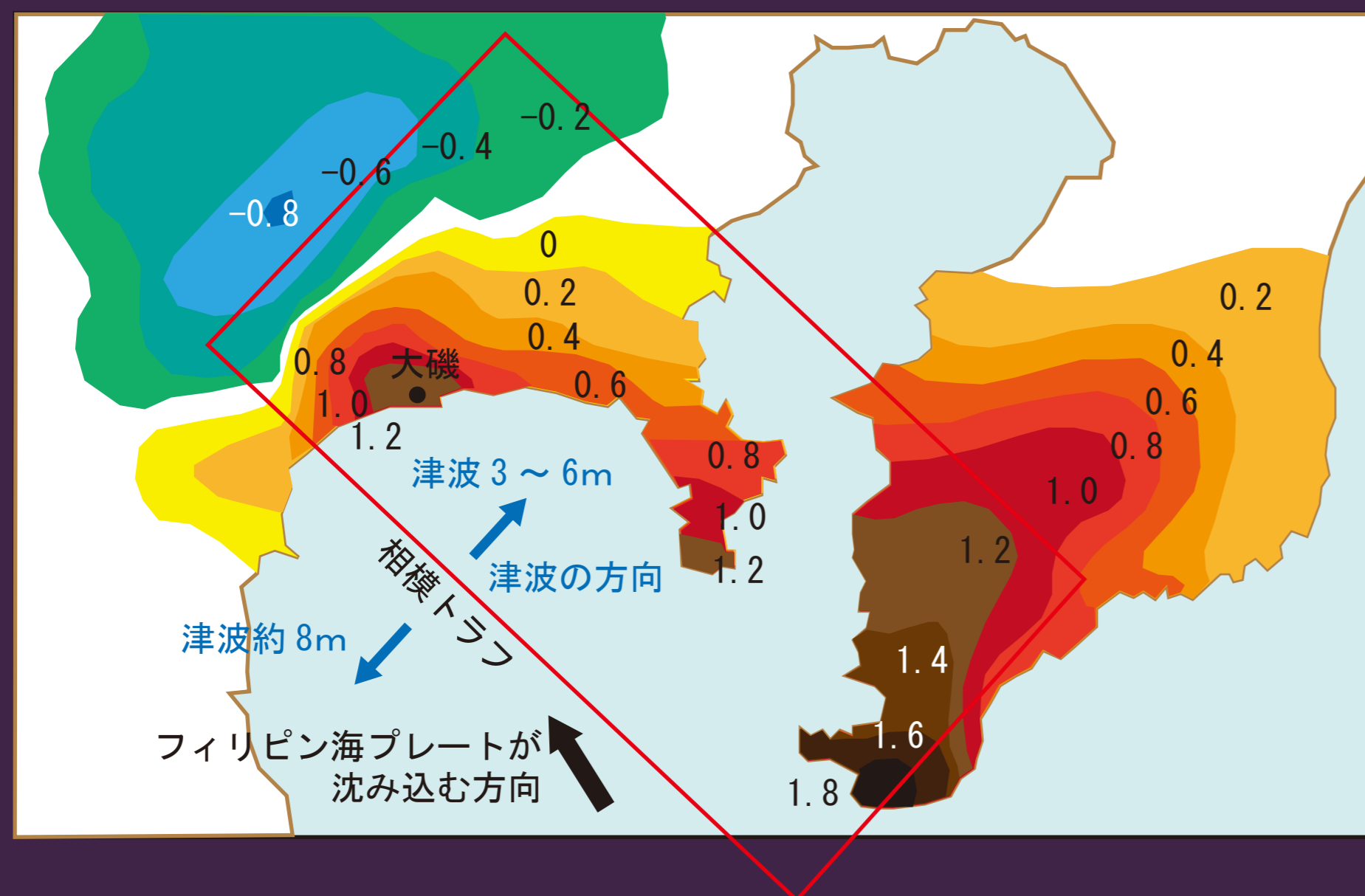


左奥の杭は、震災前は海中にあったと言う。
(「関東地震ノ地形学的考察」より、杉崎俊和氏提供)



(杉崎俊和氏提供)

土地の変動と津波の関係



土地の変動の単位はm。

※『日本歴史災害事典』p.424 図2 をもとに作成



関東大震災は、相模トラフという相模湾を縦断するように走っているプレートの境目が動いたことによって起こったから、津波がちょうど相模湾を横切るように動いたんだべえ。



相模トラフを震源とする地震は、フィリピン海プレートが相模トラフを境とした北米プレートの下に^{もぐ}潜り込んでその反動で起こるから、北米プレート側がはね上がる…。それで大磯の方は、土地が上がるのね！

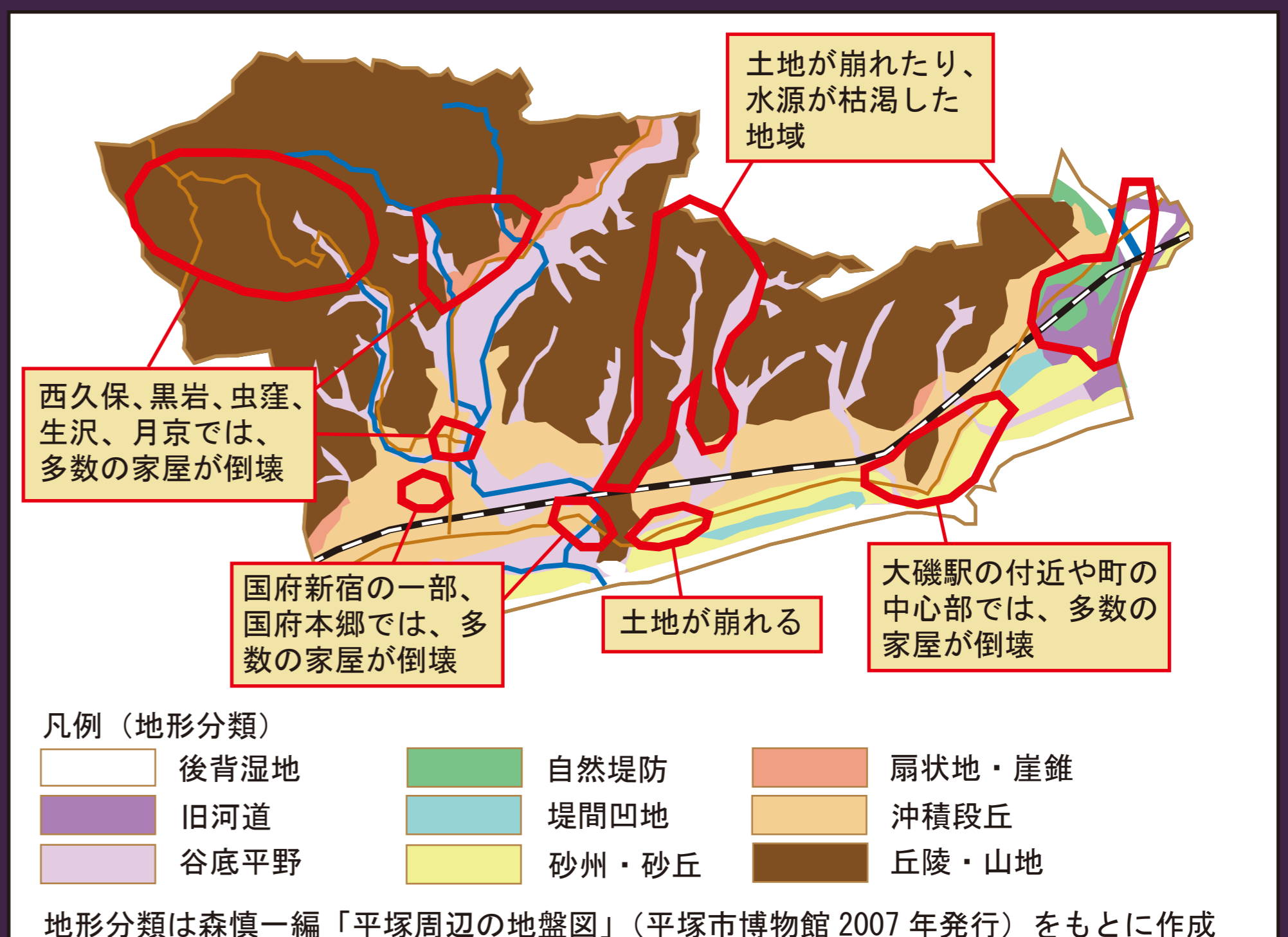


右の図は、大磯の地盤と関東大震災の土地の被害を表したものだね。大磯は岩盤だから建物の倒壊が少なかったと言われているけど、家が建っていたところは、結構倒壊しているわね。



西小磯の丘陵あたりは、地面が崩れているべえ。国府地区は、多くの建物が倒壊したべえ。

地盤と関東大震災の被害の関係



地形分類は森慎一編「平塚周辺の地盤図」(平塚市博物館 2007 年発行) をもとに作成